

小田原ガイド協会だより

— OGO 第86号 —

NPO法人 小田原ガイド協会

小田原市城内3-22（〒250-0014）
TEL.0465-22-8800 / FAX.0465-22-8814

<http://www.odawara-gaido.com>

現地実習の様子 ▼



講義（座学）の様子 ▶



ガイド養成講座 第9期

コロナ禍でも…

ただいま奮闘中!!

養成講座内容は、小田原の歴史と史跡を中心に、机上の講義（座学）と現地実習、及び並行して自主研究を課題として付加し、一年という短い期間に濃密に凝縮された講座内容になっています。また一年を通して円滑に運営されるように養成講座委員会メンバーがサポートしています。毎年学習課程

閉校することとなったため、ガイド協会は、独自で新規入会者養成のための仕組みを作ることを余儀なくされました。平成二十三年八月にガイド養成委員会を設立し、養成教育に関する規約や、学習課程、講座・実習資料、講師に関する事項などを短期間に検討、具体化し、平成二十四年度四月に、第一期養成講座をスタートすることが出来ました。

ガイド養成講座の取組み 近藤 良一

ガイド協会設立当初（平成九年設立）は、小田原市が開講したシルバー大学歴史観光科を卒業する（三年間）ことが入会資格になっていました。ところがシルバー大学が平成二十三年度で

や資料の見直しも実施しています。これまで協会員の中から講座毎に講師を選任していましたが、学芸員など外部の専門講師の講座も組み入れ資質アップを図っています。その際は在籍協会員の参加も含めレベルアップも兼ねていきます。将来のガイド協会を担う優秀な人材の発掘と育成ができることが今後の協会に課せられた課題でもあります。

■新型コロナウイルス禍対応

例年四月に開講していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染で緊急事態宣言が発令されたため、活動を全面的に休止しましたが、緊急事態宣言が解除されたことで、三ヶ月遅れの七月一日に開講が決まりました。

今年度カリキュラム（抜粋）

N o.	講座名・講義 / 実習	
1	小田原の通史I（小田原のいにしえ・原始・古代）	講義
3	中世の歴史（石橋山合戦と鎌倉幕府）	講義
8	戦国最大の城郭 小田原城と小田原北条氏	講義
11	ジオパークII（入生田～石垣山～早川）	実習
13	小田原城	実習
15	小田原城の植物	実習
20	石垣山一夜城の史跡	講義
22	小田原の文学	講義
25	総構	実習
30	板橋地区（小田原用水・古稀庵・松永記念館・他）	実習
32	小田原の街を歩く（通り9町・脇8町）	実習
35	曾我兄弟	講義

講義 16回
実習 22回
計 38回

期間が短くなってしまいました
が、当初計画したカリキュラムを
こなすべく講師の方々のご協力も
頂き、半日講義を一日講義とする
ことや夏休み短縮等を組み入れた
改訂版を作りスタートしました。
また、実行に当たっては様々な感
染対策処理を取り入れてあります。

『実行委員』として

白須文子

講師や受講生が講座に集中でき
るように、諸企画や準備・周知等
のサポートをしています。今年

度は何といてもコロナ禍対策の
比重が増えています。

開講するにあたり、しっかりと検
討・準備を進めてきました。受講
時ごとの体温測定、マスク類の適
材適所での着用、除菌液（各自携
帯用も配布）他除菌用具一式の用
意、座学では参加者の倍以上の定
員の会議室利用や講座前後に受講
生とともに什器の消毒、屋外実習
で使用のインカムは、イヤホン・
ストラップは個人持ちとし、機器
も使用後は自ら除菌して返却とし
ています。今後も安心安全をモツ
トにサポートしていきます。

内藤直美さん

小田原に引越して来て、まだ六
年くらいです。知らない土地ですが、
小田原の人はとても親切だったの
で、何か恩返しをしたいなと思っ
てました。それでボランティアをやっ
てみようと考えていたところ、養成
講座の案内があり応募しました。
入ってみると、講義の内容も同期
生の知識レベルが高くて、つい
ていけるかなって少し焦りました。
図書館にこんなに通うのも初めてで
す。実習も自主研究も楽しいです。
お客様が「小田原にまた来たいな
」と思うようなガイドをやりたいで
す。

受講生の声

飯塚忠夫さん

湯河原に住んでいます。小田原や
西さがみの歴史を知りたいと思っ
てこの講座に応募しました。講義の時
私は先生の真ん前に座って、一番最
初に質問するように心がけていま
す。講師の先生や先輩たちの知識量
がとても豊富で驚いています。
おそらく私が最年長者だと思いま
す。記憶力などのハンデがあります
が、ハンデは、皆、それぞれにある
はずで、何とかそれを克服してがん
ばりたいと思っています。
講義、実習、自主研究と三つがセツ
トになって知識が深まっていく、そ
れはとても楽しいことです。

企画ガイド

時代を超えて！
秋さわやか散歩！

畠山 義彦

タイトルとは裏腹の雨の中の
「秋びしょ濡れ散歩」となってし
まいました。それでも二十六名の
方に参加いただきました。コロナ
禍の初の企画ガイドということ
で、受付は消毒・検温・手袋をし
てのお金の受け渡しと、万全の体
制で臨みました。鴨宮駅を出発し
酒匂を経由して酒匂川を渡り、小
田原へ至るとい酒匂がメインの
コースでした。

今回、私がこの企画ガイドに参
加したのは、足柄下郡酒匂町に生
まれ、酒匂で育った私が何か貢献
できることはないかと思ったから
です。酒匂に貸別荘の松濤園や平
岡瀬の三望園があったことは知ら
れています。岩倉具視の四男で
ある貴族院議員の岩倉道俱（みち
とも）の別荘が、現在の西酒匂三
丁目にあったことは知られていま
せん。黒松と赤レンガの擁壁で囲
まれた場所に、主屋・茶屋や大き
な池があったことを記憶を頼りに



岩倉道俱の別荘（当時）

説明しま
した。ま
た鎌倉幕
府將軍の
御所が
あったと
いわれて
いる現在
の小田原
保健セン
ターいそ
ぎの場
所は、酒匂中学校への私の通学路
でしたが、当時は土塁で四方を囲
まれ、今でもその一部が残ってい
ます。ひよっとしたら浜辺の御所
のときのものかもしれません。

また東海道から分かれて酒匂神
社の入口前を通り保健センター南
側を通って鴨宮へ続く道は、足柄
峠へ向かう足柄道です。酒匂はそ
の分岐点にあたり、鎌倉時代に酒
匂宿として栄えた場所です。母校
の酒匂小学校の校歌には「酒匂の
里は東路のとぼそとこそはしられ
けり」とあり、「とぼそ」とは入口、
戸口のことであり、分岐点を意味
していることなどを交えて解説し
ました。

歴史・文化の大切さを伝えてい
くこの活動、楽しみながら続けて
いきたいと思えます。

インタビュー企画

Playback おだわら

ガイド協会は 心やすまる「居場所」

第六回語り手 高橋 光男

■高橋さんのお生まれは、どちらですか？

昭和十三年、足柄上郡の福沢村です。現在の南足柄市の福沢地区と呼ばれるところです。

福沢諭吉が、この地にある天福寺の和尚さんと親しく、保養をかねてたびたび訪れてくれた。明治の頃、合併して新しい村を作ることになった時、普段お世話になっている福沢先生の名前を村の名前に頂こうと満場一致で決め、「福沢村」となったわけです。今も福沢小学校とか、福沢公園とかの名前が残っています。

■その後、小田原へ引っ越すわけですね。

電源関係のメーカーに就職して、扇町の社宅に入りました。やがて結婚して新居を田島に構えま

した。国府津中学校西門のすぐ隣です。今は住宅の密集地だけど、四十年くらい前は田園地帯にポツンポツンと農家があるくらいで、カエルの鳴き声と一緒に生活していました。

■社内結婚ですか？

そうですね。その頃は、仕事場に恋愛を持ち込むなんてとんでもないことですから、会社内ではお互いに知らん顔、交際は秘密でした(笑)。

ここに住んだのは、国府津駅に近いから。東京の事業所への転勤などを考慮してです。その頃、東海道線の電車基地が国府津にあつて、この始発が多かった。

■国府津や田島で好きな場所は？

森戸の松から御殿場線沿いを散歩するのは好きでした。東は大磯丘陵、西は富士山が見え、高いところに登るとギラギラした相模湾が見える。あのあたりにあつた別荘地や田圃も今は、どんどん分譲住宅になっていきます。

■ガイド協会に入ったきっかけは？

定年退職した後、お堀端の近くで働いてました。向かいの小田原城で、優雅にガイドしている人たちの姿が目について。それが、私の「居場所」になるんじゃないか

と思ひましてね。

その後、報徳塾やシルバー大学で学びました。今まで近くに住みながら、何もわかっていなかったと実感しました。

■入会した頃の協会は、どんな感じでした？

最初、企画ガイドは無料でした。それが、ある時突然、有料にするという。「俺たち、お金の取れるガイドなんてできるかな？」と心配になりました。皆で他の有料ガイドを見学にいって……、まあ何とかなるかなって感じで。それから、皆、資料作りなどに力を入れ始めましたね。

■高橋さんは、国府津に関する企画ガイドが多いですね。

最初の頃、国府津や田島のコースは少なかった。それで皆で始めたのが「徳川慶喜公の散歩道」です。調べてみると、渋沢栄一の尽力が大きい。もともと一橋家の重臣でしたし、慶喜公を大鳥別荘に紹介したのも渋沢栄一です。

考えてみれば、福沢諭吉のゆかりの地に生まれ、渋沢栄一のゆかりの地に移った。俺は一万円札に縁が深いんだなって思った。お金は貯まれないけど(笑)。

国府津小の野外学習や中学生の地域を知る講座にも呼ばれて……

「国府津は、山がポツコリ隆起したから海に迫っていて、だから高いところに登ると景色がいいんだよ」って説明したら、ポツコリ山のガイドさんなんて言われちゃって(笑)。

四十年前の初心に戻って、生徒たちと一緒に学んできます。生徒たちから、お礼や感謝の手紙なんかもらって……その手紙は、私の宝物です。

■ガイドのあるべき姿って、どんなものでしょう？

私はお客様に喜んでいただき、自分も楽しめるガイドをめざしてやってきました。小田原は歴史と文化の街、ここでガイドをする。この年で居場所があるのは、恵まれたことだと思ひます。

(文責…編集部)



森戸の松は、戦時中に落雷があり枯れた。現在、記念碑が立っており、その裏に描かれたレリーフ

国民的映画と云われた『男はつらいよ』シリーズは寅さんと渥美清主演で四十八作品が製作されている。これはひとりの俳優が演じた最も本数が多い映画のシリーズとしてギネス世界記録に認定されている。今年は正月映画として第50作『お帰り寅さん』が公開されたが、その前作Ⅱ第49作（正式タイトル『男はつらいよ寅次郎ハイビスカスの花【特別編】』）は、渥美清逝去の一年後（一九九七年）に旧作品を再編集して公開された。その冒頭約九十秒が国府津駅ホームのシーンだ。

お馴染みの富士山に映る松竹映画マーク。そして本編へ。スリッ姿の青年が駅のホームでベンチに座り、缶ビールの蓋を開けるシーンからはじまる。寅さんの甥、満男（吉岡秀隆）だ。彼はしがたない営業マンで、鈍行列車に乗り地方都市を訪ねて歩く自分の境遇を、伯父である寅さんに重ね合わせる。そして「伯父さんに会いたいなあ」とつぶやき、隣りの一番ホームを見ると、そこに寅さんの幻影が現れるのだ。時間にして十数秒、当時最先端のCG技術で映されたのはホームに立つ寅さんが、通

過する電車（踊り子号か？）の窓越しに手を振り、電車が過ぎ去ると消えていて思わず満男が目をとるとというシーン。突如現れた寅さんの背景は相模湾の海。いかにも海に近い駅という印象を与える映像になっていた。ただ「国府津駅」を示す駅名看板やテロップは出ない。

著名な映画のロケなのでさぞかし評判になったのではないか

おだわら シネマニア ②

国府津駅

上田 信一



【写真】上と中：映画の1シーン
下：現在の国府津駅一番ホーム

男はつらいよ 第49作
山田洋次監督作品
1997年11月公開/106分

と思い、すこし調べてみた。ところが案に相違し、このロケのことを知っている人が見当たらない。国府津在住の知人にもお願いし、街の人たち（郵便局長・釣具店・魚屋さん・雑貨店・時計店・駅前のパン店と不動産屋さん等々）に聞いてみたのだが、この作品を知っている人も、国府津駅に気が付いた人はいなかったとのこと。国府津出身でいまは京都在住の寅さんファンは「テ

レビ放送は欠かさず見ていますが、どこか見覚えのある駅だなあと思っていたら、国府津駅でしたか。懐かしい」といった按配。国府津駅での撮影風景を見た人がいないのは、すでに二十年を過ぎて当時の高齢者は殆ど亡くなっていること。また主役の渥美清が故人であり、おそらく監督もロケに来ておらず話題には上らなかった。さらに現場が

駅構内という制約ある場所なので、関係者もあまり騒がなかったこと、ではないだろうか。

地元の情報誌・広報等にもロケの情報は見当たらなかったのので、最終手段で、松竹映画広報部に問い合わせしてみた。メールの返信はこうだった。「お問い合わせいただいた小田原ロケについてですが、弊社該当部署・関係者にいろいろあたってみましたが、申し訳ございませんが、ロ

ケの詳細な記録および関係者の記憶とも見つかりませんでした」山田洋次監督の作品集成本には「満男の回想によって、リリー（浅丘ルリ子）の出演作のシーンを組んだリニューアルバージョン」との表記があるだけで、肝心の作品解説は掲載されていない。所詮、キワモノ扱いなのだろう。本物の寅さんが映っていたなら、そのロケ地というだけで聖地にもなりうるのに……。

ちなみに、本来製作される予定だった第49作は、既に構想があり公開日も決定していた。高知県初ロケでタイトルは『寅さん花へんろ』。マドンナが田中裕子、ゲスト西田敏行でふたりは兄妹役。ストーリーは室生犀星の『あにいもうと』のように展開し、そこに寅さんと妹さくら（倍賞千恵子）との情愛が重なる設定だったとか。そしてシリーズは第50作で完結の予定だった。保育園の用務員をしていた寅さんが、その死を園児に看取られる設定。マドンナは黒柳徹子。

高知県安芸市には「寅さん地蔵」があるという。国府津駅には何も無い。幻の第49作のほう、が、実の第49作より話題に上ることが多いようだ。哀。

威風堂々とそびえる 姫路城から神戸へ

鈴木 かつる

数年前、恒例の家族旅行で姫路・神戸へ行つた時のことです。

改修寸前に見た姫路城とは違い、燦然と輝く純白の眩いばかりの輝きが蘇つた巨城を目にした瞬間『これぞ白鷺城だ！』何とも言えない荘厳で威容を誇る大天守に圧倒されました。

予約しておいたガイドの説明を聞きながら大天守へ。外見の美しさとは違い、大天守にたどり着くまでの強固な防御に加え、天守群が巨大な要塞として立ちふさがっていました。天守内部も石打柵の足場を設け、射撃後の煙だし窓を設けるなど攻めの対応に怠りがなく、軍事施設で大軍による籠城戦に対応した城であることが分かり驚きで一杯。それにしても最上階からの眺望は最高でした。

姫路城を後に神戸に戻り北野異人館巡りを満喫しました。急坂を登り冷たいものが食べたくなったので『風見鶏の館』の近くで『神戸六甲牧場』の有名なソフトクリームを「濃厚でしつとりして美味しい」と口々に言いながら食べました。

翌日は南京町を見学し、シティループバスで新神戸へ。レトロ口でお洒落なバスは神戸の街にピッタリ。混雑していましたが、車内ガイドから観光スポットの話が聞け、新鮮で乗心地が良かったです。小田原宿回遊観光バスと同じようなシステムですが、乗り降り自由の一日乗車券の他に一回乗車券（二五〇円）もあり、これは途中下車しなければ一周（約一時間）乗ることができます。そして新神戸から新幹線で帰路に。車中では、姫路城より神戸観光の話に花が咲きました。



【2021年企画ガイド予定】 申込み・お問合せ 0465-22-8800

件名	日時・集合場所	参加費	コース
I 菜の花の吾妻山と橘地区	1月30日(土) 約8km 9時～13時頃 JR二宮駅集合	700円	二宮駅～梅澤海岸～ 羽根尾遺跡～川勾神社～ 吾妻山 解散
II 秀吉も恐れた小田原城総構 「蓮上院の土塁と少年院の土塁」	2月17日(水) 約6km 9時～12時頃 小田原駅東口集合	700円	小田原駅東口～ 蓮上院土塁～少年院土塁～ 小田原駅西口 解散
III おかめ桜の咲く頃、 根府川駅から景勝・史跡を巡る	3月上旬(日付未定)		詳細未定

- ・各コース参加申込みは実施日の45日前からです。小田原ガイド協会HPでもご案内しております。
- ・新型コロナウイルスの感染状況等により、延期・中止の場合があります。

【九月以降の退会者】

星野隆さん
ありがとうございました

【編集後記】

今年の協会だよりも最終号となりましたが今年にはコロナで始まりコロナで終わるといふ年となってしまいました。ガイド活動も大変大きな影響を受けました。特にマスクは生活必需品となり、夏は冷感、手作り等もはやファッションの一部になりました。さらにマスク専門店、自動販売機まで出現しています。



去年の今頃はだれも想像していなかった社会へと変化しているように思えます。

来年はマスクの呪縛？ではなくてコロナウイルスの呪縛から解放されることを願いつつ、この紙面掲載も新たな視点での編集を模索しながら委員一同頑張っていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

(y・k)

【編集委員】

飯田宗男(委員長)
磯崎知可子 戸田博史
柏木由美子 上田信一

令和2年度賛助会員

賛助会員のお店は皆様をお待ちしています！

賛助会員の皆様にはガイド協会の活動に賛同しご支援を頂いています。

賛助会員の詳細は小田原ガイド協会HPをクリックしてください。

<http://www.odawara-gaido.com>

☎ 0465-

☎ 0465-

鱒 壺 北 條	25-1932	田中屋本店	22-5545
伊 勢 屋	22-3378	だるま料理店	22-4128
ういろう	24-0560	欄干橋ちん里う	23-1547
魚市場食堂	23-3818	露木木工所	22-5995
江 嶋	22-1661	東 菟 庵	22-4657
小田原種秀本店	22-6238	鳥 かつ 楼	22-2078
籠 清	22-0251	菜 の 花	24-5688
籠 常 商店	23-1807	箱根屋酒店	22-6416
柏木美術鋳物研究所	22-4328	小田原早川漁村	24-7800
カネタ前田商店	23-4741	平 井 書 店	22-5370
居酒屋 金 時	23-0721	松崎屋陶器店	24-2479
幸 繁	22-5155	マツシタ靴店	24-2233
グリル 木の実	22-2912	万 葉 の 湯	23-1126
さがみ信用金庫	24-3161	柳屋ベーカリー	23-2342
志村屋米穀店	24-2224	山市湯川商店	22-5637
杉 兼 商店	22-5051	山 安	21-1137
鈴廣かまぼこ	22-2333	R Y O	20-0077
せきしん運輸	42-7375	わらべ菜魚洞	22-4858
田 毎	24-3030		【50音順】